

平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 シライ電子工業株式会社

コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 基昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・財務担当 (氏名) 小谷 峰藏

TEL 075-861-8102

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	11,407	3.8	69		304		364	
23年3月期第2四半期	11,854	22.3	154		465		592	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 315百万円 (%) 23年3月期第2四半期 625百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	26.11	
23年3月期第2四半期	42.42	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	19,282	1,589	7.5	103.57
23年3月期	19,522	1,906	9.0	126.30

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,447百万円 23年3月期 1,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		0.00		0.00	0.00
24年3月期		0.00			
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	11.7	400	312.4	150		90		6.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	13,976,000 株	23年3月期	13,976,000 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	1,382 株	23年3月期	1,382 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	13,974,618 株	23年3月期2Q	13,974,618 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成23年12月1日(木)に機関投資家、証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 追加情報	11
(6) セグメント情報等	12
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(8) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国におきましては高い失業率や個人消費の縮小を背景に景気の回復が鈍化し、また欧州におきましては財政問題の深刻化を受けグローバルな金融不安への懸念が払拭できない状況が続きました。一方、中国を中心とした新興国におきましては堅調な経済成長が続いたものの、インフレ懸念からの金融引き締めを背景に成長ペースが弱まりを見せつつあり景気の先行き不透明感が拡大いたしました。わが国経済におきましては、サプライチェーンの復旧や企業・消費マインドの改善により、東日本大震災による落ち込みからは持ち直しつつありましたが、欧米諸国における財政問題等を原因とする円高や長引くデフレ、電力使用制限等の問題が継続し、先行きが不安定なまま推移いたしました。

プリント配線板業界におきましては、震災からの復興需要等により一部の分野は堅調に推移いたしました。東日本大震災の影響で生産活動が停滞したカーエレクトロニクス関連分野は、サプライチェーンの立て直しによる急伸が期待されたものの、世界経済の不透明感や円高の影響等により回復のテンポは緩やかなものに止まり需要は伸び悩みました。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、国内営業では震災後も需要が堅調なホームアプライアンス関連や電子応用関連を中心に活動を展開いたしました。また、海外営業では成長が堅調な中国を中心としたアジア市場において、需要が旺盛なホームアプライアンス関連を中心に受注強化に取り組みました。一方、生産活動におきましては、国内外において製造力強化活動を継続展開し、労働生産性向上やリードタイム短縮等を進め生産体制の強化を図るとともに、品質向上にも注力いたしました。

プリント配線板外観検査機事業におきましては、両面同時撮像式検査機を中心に中国をはじめとしたアジア市場への販売強化を継続いたしました。また、プリント配線板の外観検査工程からプロセスソリューションまでを一連の流れとして総合的に運用できる新たな商品の開発を行い、国内外の展示会等を通じて提案することにより市場の拡大にも努めました。透明フレキシブル基板や銅ピン挿入基板等の新商品につきましても、引き続き新たな市場と顧客の開拓に注力いたしました。

以上の結果、プリント配線板外観検査機事業は堅調に推移したものの、プリント配線板事業におきましては、デジタル家電関連分野の海外移管や東日本大震災の影響によるカーエレクトロニクス関連及びアミューズメント関連分野の受注縮小により、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,407百万円となり、前年同期比では446百万円（3.8%）の減収となりました。

営業損益につきましては、売上高は減収となりましたが、中国自社工場の本格稼働により内製化が進み仕入高が減少したことや、国内外での製造力強化活動の取り組み効果等により原価率が改善し、売上総利益が増加したことから、前年同期比では85百万円改善となる69百万円の営業損失となりました。経常損益につきましては、投資不動産賃貸収入が無くなったことや支払利息の増加はありましたが、営業損失の改善や為替差損の幅が大幅に縮小したことから、前年同期比では160百万円改善となる304百万円の経常損失となりました。

四半期純損益につきましては、前年特別損失に計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が当第2四半期連結累計期間において発生しなかったことや営業損益及び経常損益の改善により、前年同期比では227百万円改善となる364百万円の四半期純損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(プリント配線板事業)

プリント配線板事業につきましては、東日本大震災の影響によりカーエレクトロニクス関連やアミューズメント関連を中心に厳しい受注環境が継続したことから、売上高は10,998百万円となり前年同期比では515百万円(4.5%)の減収となりました。損益面におきましては、中国自社工場の本格稼働により内製化が進み仕入高が減少したことや、国内外での製造力強化活動の取り組み効果等により原価率が改善し、売上総利益が増加したことから前年同期比では100百万円改善の128百万円の営業損失となりました。

(プリント配線板外観検査機事業)

プリント配線板外観検査機事業につきましては、中国を中心にアジア方面から安定した受注があり、外部顧客への売上高は増加しましたが、前年同期にあったグループ間での取引が当第2四半期連結累計期間においては減少したことから、売上高は382百万円となり前年同期比では8百万円(2.0%)の減収となりました。損益面につきましては、売上高の減収及び円高の影響により利益率が悪化したことから57百万円の営業利益となり、前年同期比では34百万円(37.8%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、19,282百万円(前連結会計年度末比240百万円減)となりました。その内訳は、流動資産が9,732百万円(前連結会計年度末比33百万円減)、固定資産が9,550百万円(前連結会計年度末比206百万円減)であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金をはじめ製品、仕掛品、繰延税金資産、その他の項目については総額302百万円増加しましたが、固定資産の取得により現金及び預金が277百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産が減価償却の実施等により76百万円減少し、投資その他の資産が株式市場の低迷により投資有価証券の時価が低下したことや、持分法適用会社の業績悪化に伴い関係会社株式の評価が減少したことなどにより、120百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、17,692百万円(前連結会計年度末比76百万円増)となりました。その内訳は、流動負債が10,529百万円(前連結会計年度末比84百万円増)、固定負債が7,163百万円(前連結会計年度末比7百万円減)であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金は154百万円減少しましたが、短期借入金が229百万円増加したことによるものであります。固定負債は、長期借入金は48百万円増加しましたが、リース資産減損勘定やリース債務等その他の負債が57百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、1,589百万円(前連結会計年度末比317百万円減)となりました。その主な増減要因は、為替差損の減少に伴い為替換算調整勘定は52百万円改善しましたが、四半期純損失を364百万円計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、1,259百万円となり、前年同期比では49百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、30百万円の流出となり、前年同期比では1,016百万円の流出減少となりました。

その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間は税金等調整前四半期純損失が235百万円改善となったことや、仕入債務の増減額が592百万円増加、売上債権の増減額が171百万円減少したことにより資金流出が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、326百万円の流出となり、前年同期比では526百万円の流出減少となりました。

その主な増減要因は、前年同期は有形固定資産の取得による支出に白井電子科技(珠海)有限公司の設備増強等による支出が522百万円発生し増加しておりましたが、当第2四半期連結累計期間では有形固定資産の取得による支出が減少したことや、無形固定資産の売却による収入が6百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、74百万円の獲得となり、前年同期比では1,212百万円の獲得減少となりました。

その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間には短期借入金の純増減額が1,043百万円減少したことや、長期借入れによる収入が129百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に公表いたしました業績予想につきましては、引き続き国内・海外とも景気や為替の動向が不透明であり、またタイで発生しました洪水や国内の電力問題の影響等が懸念されることから、現時点におきましては通期の業績修正は行わず、据え置いております。今後、業績予想の修正が必要なことが判明いたしました場合には、速やかに公表させていただきます。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,146	1,869
受取手形及び売掛金	5,042	5,076
製品	1,120	1,205
仕掛品	353	416
原材料及び貯蔵品	342	283
繰延税金資産	120	160
その他	642	722
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,766	9,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,720	3,638
機械装置及び運搬具(純額)	1,957	2,036
その他(純額)	2,250	2,176
有形固定資産合計	7,928	7,852
無形固定資産	234	224
投資その他の資産	1,594	1,473
固定資産合計	9,756	9,550
資産合計	19,522	19,282

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,515	3,471
短期借入金	3,828	4,058
1年内返済予定の長期借入金	1,850	1,695
未払法人税等	49	41
賞与引当金	222	281
その他	978	981
流動負債合計	10,444	10,529
固定負債		
長期借入金	5,945	5,993
退職給付引当金	672	671
資産除去債務	129	131
その他	423	366
固定負債合計	7,171	7,163
負債合計	17,616	17,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,476	1,476
利益剰余金	△821	△1,186
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,015	1,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11	△17
為替換算調整勘定	△239	△186
その他の包括利益累計額合計	△250	△203
少数株主持分	141	142
純資産合計	1,906	1,589
負債純資産合計	19,522	19,282

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,854	11,407
売上原価	10,371	9,813
売上総利益	1,482	1,594
販売費及び一般管理費	1,637	1,664
営業損失(△)	△154	△69
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	2
仕入割引	10	9
投資不動産賃貸料	28	—
その他	23	10
営業外収益合計	66	23
営業外費用		
支払利息	94	145
為替差損	203	25
持分法による投資損失	55	67
その他	23	19
営業外費用合計	376	258
経常損失(△)	△465	△304
特別利益		
固定資産売却益	3	5
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産廃棄損	4	1
投資有価証券評価損	—	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	113	—
特別損失合計	117	44
税金等調整前四半期純損失(△)	△578	△342
法人税、住民税及び事業税	24	25
法人税等調整額	△14	△5
法人税等合計	10	19
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△588	△362
少数株主利益	4	2
四半期純損失(△)	△592	△364

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主利益	4	2
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△588	△362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△5
為替換算調整勘定	△5	35
持分法適用会社に対する持分相当額	—	17
その他の包括利益合計	△37	47
四半期包括利益	△625	△315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△630	△317
少数株主に係る四半期包括利益	4	2

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△578	△342
減価償却費	339	390
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	113	—
リース資産減損勘定の取崩額	△30	△19
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	58
退職給付引当金の増減額(△は減少)	43	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
受取利息及び受取配当金	△4	△3
支払利息	94	145
為替差損益(△は益)	192	5
固定資産売却損益(△は益)	△3	△5
固定資産廃棄損	4	1
投資有価証券評価損益(△は益)	—	42
持分法による投資損益(△は益)	55	67
売上債権の増減額(△は増加)	△216	△45
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205	△88
仕入債務の増減額(△は減少)	△638	△45
未払消費税等の増減額(△は減少)	21	△51
その他	△93	31
小計	△893	139
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	△92	△143
法人税等の支払額	△100	△49
法人税等の還付額	36	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,046	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△829	△325
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△11	△11
無形固定資産の売却による収入	—	6
投資有価証券の取得による支出	△66	△6
投資有価証券の売却による収入	60	—
その他	△8	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△852	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,260	216
長期借入れによる収入	974	845
長期借入金の返済による支出	△918	△955
リース債務の返済による支出	△26	△30
少数株主への配当金の支払額	△4	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,286	74
現金及び現金同等物に係る換算差額	△50	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△662	△277
現金及び現金同等物の期首残高	1,872	1,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,209	1,259

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	プリント 配線板事業	プリント配線板 外観検査機事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	11,514	311	11,826	28	11,854	—	11,854
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	79	79	226	305	△305	—
計	11,514	390	11,905	254	12,160	△305	11,854
セグメント利益 又は損失(△)	△229	91	△137	10	△127	△27	△154

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣・業務請負を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△27百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	プリント 配線板事業	プリント配線板 外観検査機事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	10,998	379	11,378	29	11,407	—	11,407
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	197	200	△200	—
計	10,998	382	11,381	226	11,608	△200	11,407
セグメント利益 又は損失(△)	△128	57	△71	△11	△83	14	△69

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣・業務請負を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額14百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。